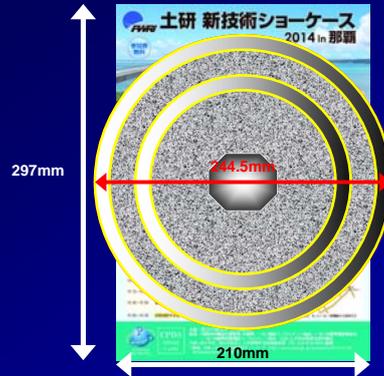


NEW 高耐カマイクロパイル工法 (新しい杭基礎工法)

【厳しい条件下で施工可能な技術】

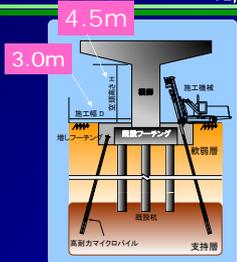
独立行政法人土木研究所
日立造船鉄構株式会社
株式会社フジタ 相良昌男

Question この円の大きさは？



NEW高耐カマイクロパイルとは

- 「狭くて」、「低い」場所でも施工できる細径の杭
- 細いけど力持ち(高耐力・高支持力)



細マッチョ!?



NEW高耐カマイクロパイル

Question 従来工法は？

「狭い」
および
「低い(高さ制限がある)」
等々の現場における
杭施工の従来工法は？

従来工法による既設基礎の耐震補強の例



鉄筋かご建込み

削孔状況



厳しい条件下で施工可能な技術

NEW 高耐カマイクロパイル工法

- マイクロパイル
- 高耐カマイクロパイル
- NEW高耐カマイクロパイル

高耐久マイクロパイル(共同研究)

FUJITF

- 耐震補強の設計・施工マニュアル
- 共同研究報告書
 - 整理番号282号
- 既設基礎の耐震補強技術の開発に関する共同研究報告書(その3)
 - 高耐久マイクロパイル工法設計・施工マニュアル(6分冊の2)



研究開発の背景

FUJITF

急速施工立体交差工法 Hi-FLASH工法



研究開発の背景と目的

FUJITF

渋滞が問題となっている交差点の多くは地盤が軟弱な大都市圏

立体交差の急速施工と二次渋滞緩和を目的とした基礎杭工法として、高耐久マイクロパイル工法(以下、HMP)に着目

背景

官民共同研究((独)土木研究所、日立造船、フジタ)「交差点立体化路上短縮技術の開発(2003.1-2005.3)」において、特に橋台の基礎杭としてHMPの適用を検討

従来のHMPと比べて、より効果的・合理的な対応を図ることを目的

目的

NEW高耐久マイクロパイル(以下、NEW-HMP)の研究開発を実施

実施

主な特長

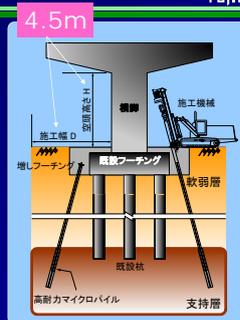
FUJITF

■設計面

- ・ 細径でも高耐久・高支持力
- ・ 基礎フーチングが小さくなる
- ・ 押込み・引抜き両方に有効
- ・ 水平力に対して斜杭が有効

■施工面

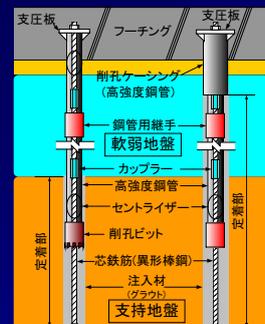
- ・ 狭いスペースで施工可能
- ・ 騒音・振動が小さい
- ・ 既存構造物の影響が小さい
- ・ 機材搬入が容易
- ・ 掘削土量が少ない



高耐久マイクロパイル & NEW高耐久マイクロパイル 共通

NEW高耐久マイクロパイルの特長

FUJITF

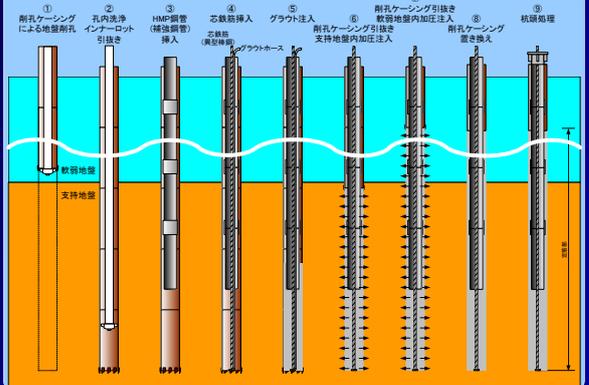


1. NEW-HMPIは、HMP工法と比べて杭径が大きく、また、軟弱層においても周面摩擦力が期待できるなど、HMPよりも杭の支持力が大きい(HMPの設計では、軟弱層での周面摩擦は考慮していない)
2. 杭径が大きい分、HMPよりも鉛直支持力および水平耐力が増大する
3. HMPIに比べて杭全体の本数を減じることが可能で、工期短縮・コストダウンが期待できる

高耐久マイクロパイル NEW高耐久マイクロパイル

施工手順

FUJITF



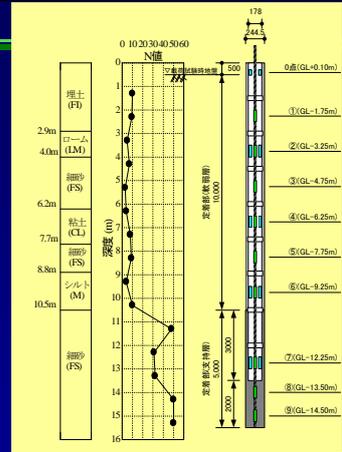
性能確認試験(引抜き試験)実施状況

FUJITF



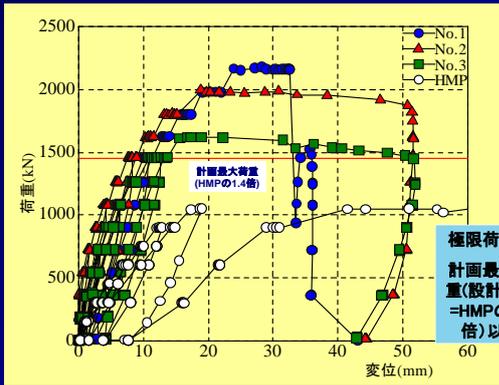
載荷杭概要

FUJITF



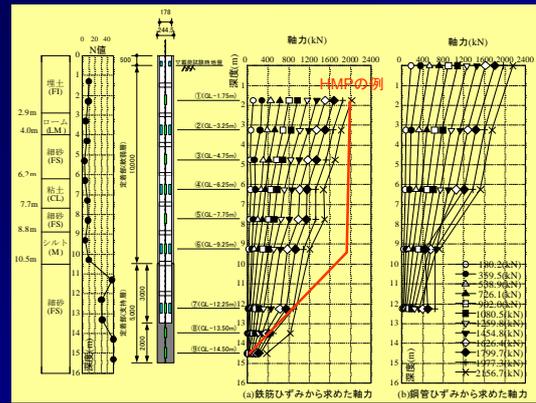
試験結果(荷重-変位)

FUJITF



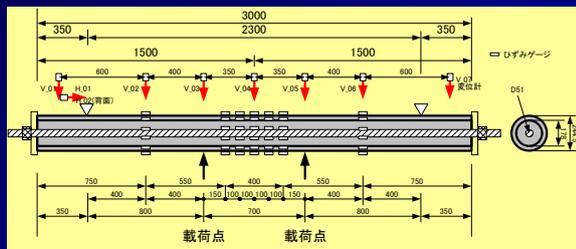
試験結果(軸力分布)

FUJITF



杭の曲げ試験 試験体概要

FUJITF



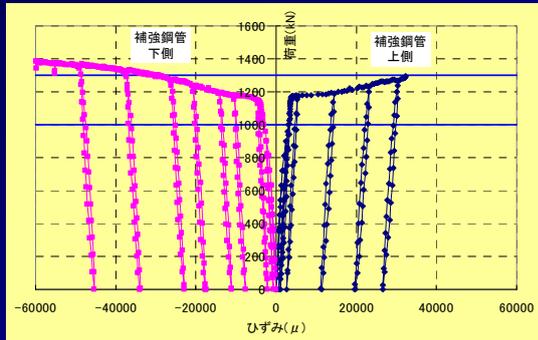
試験状況

FUJITF



試験結果(荷重-ひずみ)

FUJITF



試験結果のまとめ

FUJITF

● 杭の引抜き試験

- 軟弱層における周面摩擦力度は、場所打ち杭の周面摩擦抵抗を満足
- 支持層における周面摩擦力度は、高耐力マイクロパイルと同様にグラウンド・アンカーの周面摩擦抵抗を満足

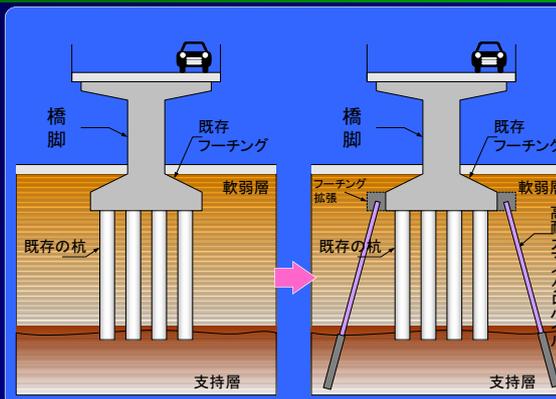
● 曲げ試験

- NEW高耐力マイクロパイルには靱性があり、変形性能に優れていることが分かった
- 設計値 ≤ 試験値 ⇒ 設計時には、NEW-HMP部材を削孔ケーシング、補強鋼管、芯鉄筋、グラウト材からなる等価曲げ剛性として求めることが可能

↓
設計荷重を満足

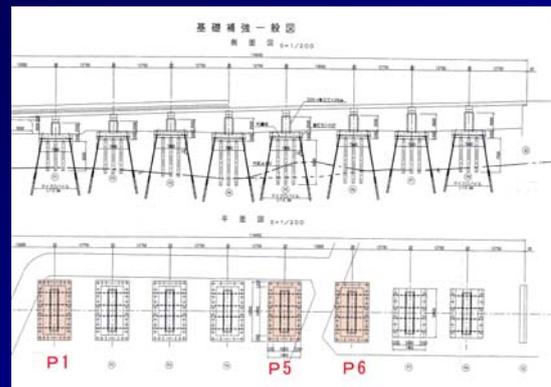
既設基礎の耐震補強(橋脚)事例

FUJITF



高耐力マイクロパイル工法(橋脚基礎補強)

FUJITF



高耐力マイクロパイル工法(橋脚基礎補強)

FUJITF



高耐力マイクロパイル工法(橋脚基礎補強)

FUJITF



NEW高耐カマイクロパイル 施工事例



機械設置



削孔完了



鋼管



鋼管挿入



鉄筋挿入





適用条件	
適用条件	低空頭、狭小スペース、橋桁の直下での施工および基礎の拡大幅に制約がある場合に適する。
必要な施工ヤード	最小桁下空間: 4.5m (削孔機種、杭配置条件による) 最小施工幅: 3.0m (削孔機種、杭配置条件による) 注入プラント・泥排水処理プラント占有面積: 各々30m ² 程度 (泥排水処理プラント規模は施工条件による)
適用範囲	最大深度: 50m 杭径: 150~300mm (標準補強鋼管径 178mm)
土質条件	硬岩、軟岩、礫質土、砂質土、シルト、粘性土、有機質土

高耐久マイクロパイル & NEW高耐久マイクロパイル 共通

条件による適用の考え方		
条件	高耐久マイクロパイル	NEW高耐久マイクロパイル
1本当たりの支持力を大きく取りたい	HMP ≤ NEW-HMP	
設計上、杭本数と杭配置の自由度が高い	△	○
中間層にネガティブフリクションの層がある	○	×
中間層で非常に透水性が高く地下水の流れが速い場合	○	△